



学びの機会が豊富で 自身の指針も定まりました

平野 央 医師
京都第二赤十字病院 2年目
年齢:27歳
出身大学:久留米大学
部活:ゴルフ部・文芸部
趣味:ショッピング
尊敬する人:両親

2 研修医の声 VOICE OF RESIDENT SP

■現在の研修先病院を選んだ主な理由は何ですか？

1~3次の救急を担う病院で症例も豊富であり、また新臨床研修制度のスタートから、研修医の教育について高い実績があったことも理由です。研修医の人数が多く、さまざまな勉強会があって切磋琢磨できる環境があると感じました。

実際に研修を行ってみて、症例の多さは想像通りでした。自分が外科ではなく内科向きだと判断できたのも、症例が豊富な病院だからこそ。臨床を通じて自分を極めることができたと思っています。

■研修の中で、特徴的だと感じた部分がありますか？

当院の研修では、救急当直の際、どんな疾患でもファーストタッチを初期研修医が行うことが原則です。最初の頃は何もできなくて不安でしたが、自分で課題を見つけながら克服していくことで、次第に自信がもてるようになりました。そうした学びの機会が豊富にあるのも、この病院の良いところです。スキルアップできる環境に感謝しています。

■印象に残っている研修でのエピソードがあれば教えてください。

2年目の7~8月に地域医療の研修で京都の北部病院に向きました。200床ほどの病院ですが、そこで主治医として、第一線で診療にあたったんです。内科で、カ

テや内視鏡もやらせてもらい、とても勉強になりました。末期の患者さんも診たんですが、そこでご家族から「先生に診てもらってよかった」と感謝の言葉をいただいたんです。思いがけない言葉に、あらためてやりがいを感じると同時に、責任の重さも痛感しました。いろいろな経験ができた2か月で、とても印象に残っています。

■平野先生は4月から新設されるKMCCのキャリアパスに応募されましたが、制度のメリットはどう感じておられますか？

総合内科・総合診療部門の医師のキャリア形成を支援してくれる制度は、内科医を目指す自分にとっては魅力的です。5年後や将来的なことを考えても、この制度を活用できることはとても心強いです。研修を府全体でサポートしてくれる雰囲気があるし、素晴らしい先生方から学べることも楽しみです。

これまで京都には病院連携の明確なシステムがなかったので、KMCCのこうした取り組みは非常に意義があると思います。京都といえばKMCCというイメージをもってもらえるよう、多くの人に支援制度について知ってほしいですね。

■では、医学生の方々にメッセージをお願いします。

勉強ができることでよい医師になれるとは限りません。むしろ人間性や社会性が実際の臨床では重要と感じます。もちろん勉強も大事ですが、ぜひ奥行きのある学習を重ねてほしいですね。

ネホリハホリ 一問一答

Q.休みの日に遊びに行ける場所はありますか？

都市部なのでいろいろあります。

Q.店屋物の種類は豊富ですか？近くにたくさんあるので、大変ありがたいです。カレー大好きです。

Q.同期は何人ですか？18人+2人(たすきがけ)です。

Q.朝食は食べていますか？できるだけ摂るようにしています。

Q.当直は大変な科でどのくらいの頻度ですか？救急当直のみですが月5~7回です。

Q.当直は何名で担当しますか？ICU・管理・外科・内科・2年目2人・1年目2人の計8人です。

Q.長期休みはとれますか？5日+土日の7日間とれました。福岡に行って、大学の同期と飲みました。

Q.休日は何をしていますか？カフェや銭湯に行って、心を整えています。



クローズアップ地域医療



指導医の先生方が 熱く教えてくれます

小森 麻衣 医師
京都大学医学部附属病院 2年目
年齢:26歳 出身大学:滋賀医科大学
趣味:ドライブ、ピアノ
特技:伊達巻作り
尊敬する人:ピヨンセとレディガガ
才能と努力とメッセージ発信力がすごいなど。同じ女性として尊敬です。

1 研修医の声 VOICE OF RESIDENT SP

■最初に、研修先病院を選んだ理由について教えてください。

私は京都生まれなので、地理的に慣れたところがいいと思いました。そして、3年目は地域医療を選ぶつもりでしたので、初期研修では先端医療を学びたいと考えたのが理由です。大学病院は教育色が強く、症例の多さは思っていた通り。症例経験値が上がるのはやはり魅力です。将来、市中病院で働くことになった際に、最先端の医療現場を知っておくことで、施設的な限界を感じたときでも「大学病院であればまだ手段がある」と具体的な判断ができるのではと思います。その意味でも大学病院を経験しておきたかったです。

■研修を通して、病院の良さはどのような点に感じますか？

カンファレンスの体制がしっかりしているところが特に良い点だと感じます。上級医の先生を囲んで週に1~2回は実施されます。また、当院は指導医の先生方が教育についてとても熱心で、とにかく指導が熱いんです。大学病院は、初期研修ではサマリーや事務仕事ほとんどと覚悟していたのですが、実際にはそんなことはなく、手技的な経験も多く積ませてくれることは良い意味での驚きでした。そして指導医の先生方は、自分でやったほうが早いようなことも根気強く研修医にやらせてくれます。夜も遅くまで残って指導してく

れたり、教育に対する意識がとても高いので、学べることが多いですね。

■小森先生は大学4年時から、京都府の奨学金を受けられたとうかがいました。奨学金制度についてうかがえますか？

4年から6年までの3年間、京都府の「地域医療確保奨学金制度」を利用しました。京都の地域医療を担う医師を確保するための制度です。奨学金を受けて、学ぶことに集中できる環境が得られたのはありがたかったです。

地元出身の人や、その地にゆかりのある人でなければなかなか地域にはやってくる人はいません。地域医療は、やはりその土地に関わりのある人が担うしかないと思います。そのはたらきかけを行うためにも、KMCCのような支援制度は必要だと思います。地域医療を担う医師の確保が安定することにつながるでしょうし、また実際にそうなってほしいと思っています。

■最後に、医学生に向けてのメッセージをお願いします。

今のうちに、勉強に遊びに全力でぶつかってほしいと思います。そして、ぜひ、京都に研修に来てください！京都は楽しむところもいっぱいありますから、休みの日には友達を旅行に呼んで、京都を案内してあげてください。情緒いっぱいの街並みが待っていますよ。

ネホリハホリ 一問一答

Q.研修医だけの部屋はありますか？研修センターに研修医全員が入れる大部屋があります。1人ずつのスペースもあります。科によっては、その科の研修医室もあります。

Q.同期は何人ですか？60人くらい。

Q.当直は何名で担当しますか？上級医1人と研修医1人、救急外来当直は上級医1人と研修医4人で深夜帯は2人ずつ交代です。

Q.面接で印象に残っていることをひとつ教えてください。感動した話を聞かれたので、お話ししましたが、あまり感動してもらえませんでした。

Q.初期研修終了後の進路は？腎臓内科に行こうと思っています。

Q.休日は何をしていますか？家事・残業・睡眠・それでも時間が余ってれば飲み会や買い物や美容院。

